

令和元年度上半期指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

施設名	岐阜市少年自然の家	所管課	教育委員会 青少年教育課
所在地	岐阜市山県北野2081番地		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	133, 883,446円		
施設の設置目的	少年が自然に親しみ、自然の中で集団宿泊生活を通じてその情操や社会性を豊かにし、心身を鍛練し、もって健全な少年の育成を図る		
施設概要	宿泊棟、キャンプ場、多目的ホール、研修室(4)、音楽室、和室、クラフト室		

●利用状況

	R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期	H29 下半期	H29 上半期
利用者数(単位:人) 団体数(単位:団体)	15,505 498	9,573 264	14,836 474	10,459 274	16,509 540
開所日数(単位:日)	158	145	156	144	158
団体利用可能日数(単位:日) ※1	157	145	155	141	156
団体利用実績日数(単位:日)	155	126	151	118	156
施設稼働状況(単位:%) ※2	98.7	86.9	97.4	83.7	100.0

※1 【開所日数】-【施設メンテナンス等により利用できない日数】 ※2 【団体利用実績日数】÷【団体利用可能日数】

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市少年自然の家条例施行規則を遵守している。 ②指定管理者仕様書に基づき、適切な人員配置、管理を行っている。 ③ホームページ、パンフレット、チラシ等による広報活動のほか、今年度よりSNSを通じた広報・情報発信を行っている。出前講座等を通して、他施設の利用者にも直接呼びかけを行っている。 ④迅速かつ丁寧な対応を行っている。
指定事業自主事業	○受入事業を実施 ○下記主催事業を実施 ①家族対象事業 ②子ども対象事業 ③市民対象事業 ○下記自主事業を実施 ①「イングリッシュ・キャンプ in GIFU」 ②「三輪北夏まつり」への事業協力(地元への事業協力)	○受入事業 ・481団体14,590人を受入れ ○主催事業 ①1事業1回に15家族47人が参加 ②2事業2回に94人が参加 ③(3月に実施予定) ○自主事業 ①1事業1回に219人が参加 ②自然の家コーナーに467人が参加

区分	確認事項	履行状況
指定事業 自主事業	<p>○研修・啓発事業を実施</p> <p>①「学校指導者研修会」</p> <p>②「青少年団体指導者研修会」</p> <p>③「川下り研修会」</p> <p>④「ボランティアスタッフ研修会」</p> <p>⑤出前講座の実施</p> <p>⑥自然情報の発信</p> <p>○研究・開発事業を実施</p>	<p>○研修・啓発事業</p> <p>①1事業2回に193人が参加</p> <p>②1事業2回に99人が参加</p> <p>③1事業3回に67人が参加</p> <p>④1事業2回に32人が参加</p> <p>⑤出前講座4回に118人が参加</p> <p>⑥下記の取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然の家だより」の発行 ・SNS (Instagram・Facebook) に38回投稿 <p>○研究・開発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーリングコース(ミワクルコース)の開発 ・出前講座用の活動メニューの開発 ・各種職員研修の実施 ・周辺の動植物調査及びデータ収集 ・「自己課題」への取組み
施設管理	<p>①日常・定期清掃業務</p> <p>②寝具クリーニング</p> <p>③空気環境測定</p> <p>④水質検査</p>	<p>①【日常】開所日は毎日実施</p> <p>【定期】 5月ガラス清掃・6月床面清掃ワックスがけ 7月浴室天井、網戸清掃 8月床面清掃ワックスがけ、ガラス清掃</p> <p>②5月・9月に実施</p> <p>③5月・7月・9月に実施</p> <p>④8月に実施</p> <p>※その他、仕様にに基づき適正に実施</p> <p>職員による施設点検(整備)</p> <p>【館内外点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の退所時 ・休所日前、休所日後 <p>【キャンプ場】【散策道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の入所前、荒天後 <p>【豚コレラ対策として消石灰の散布】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間:4月26日～9月30日 頻度:2～3日に1度、雨天後
施設修繕	<p>①迅速な修繕の実施</p> <p>②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備の実施</p>	<p>①迅速な修繕の実施例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厨房機器修繕 ガス回転釜、立体炊飯器 ・あじさい広場スピーカー配線修繕 ・キャンプファイヤー設備修繕 ・大型バンドソー・丸鋸替刃チップソー研磨 <p>②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備の実施例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散策道の整備 ・網戸破れ修繕 ・活動備品(小刀、ナタ)の研磨 ・ゴムボート破れ修繕 ・語らい広場の洗浄 ・ハチの巣駆除
危機管理・ 法令遵守	<p>①個人情報の保護</p> <p>②非常時の対応策</p> <p>③関係法令の遵守</p>	<p>①下記の取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護体制について、窓口やホームページで公開している。 ・個人情報保護担当者を配置している。 ・「個人情報保護研修会」を実施している。 <p>②下記の取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種安全マニュアルの見直し、改善を図り、適切にその運用を行っている。 ・ウォークラリー、オリエンテーリングのコース点検、巡回を適切に行っている。 ・消防訓練、防火設備等の管理を継続して適切に行っており、「表示マーク(金)」の交付を受けている。 ・猛暑時に、暑さ指数計やミスト扇風機を活用し、熱中症対策を行っている。 <p>③下記の取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市少年自然の家条例、岐阜市少年自然の家条例施行規則等、関係法令を遵守している。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>○受入事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「利用者アンケート」…すべての利用団体を対象に実施(4月1日～9月30日) 質問内容:「利用全般」「職員の対応」など ・「野外学習アンケート」…利用した小学校(抽出)を対象に実施 質問内容:自然の家の3つの願いの達成度 ・聞き取りによる調査…各活動に対応した職員が要望等の聞き取りを実施 <p>○主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「参加者アンケート」…すべての主催事業で実施 質問内容:事業の満足度、自然の家の3つの願いの達成度など ・聞き取りによる調査…各活動に対応した職員が要望等の聞き取りを実施
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○受入事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「利用者アンケート」 ※カッコ内は「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合 ①回収枚数 174枚 ②各項目の満足度・主な意見 <p>「利用全般」 (97.1%):大変満足70.1% 満足27.0% 普通 2.9% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>「施設・設備」 (96.0%):大変満足58.6% 満足37.4% 普通 3.4% 不満0.6% 大変不満0.0%</p> <p>「職員の対応」 (97.7%):大変満足81.6% 満足16.1% 普通 2.3% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>「食堂の食事」 (91.3%):大変満足51.9% 満足39.4% 普通 8.1% 不満0.6% 大変不満0.0%</p> <p>内訳</p> <p>【初回利用団体】 17枚</p> <p>「利用全般」 (100.0%):大変満足64.7% 満足35.3% 普通 0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>「施設・設備」 (100.0%):大変満足47.1% 満足52.9% 普通 0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>「職員の対応」 (100.0%):大変満足76.5% 満足23.5% 普通 0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>「食堂の食事」 (88.2%):大変満足41.2% 満足47.0% 普通11.8% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>【複数回利用団体】 157枚</p> <p>「利用全般」 (96.8%):大変満足70.7% 満足26.1% 普通 3.2% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>「施設・設備」 (95.5%):大変満足59.9% 満足35.7% 普通 3.8% 不満0.6% 大変不満0.0%</p> <p>「職員の対応」 (97.5%):大変満足82.2% 満足15.3% 普通 2.5% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>「食堂の食事」 (91.6%):大変満足53.1% 満足38.5% 普通 7.7% 不満0.7% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急な変更等にも快く対応していただき、ありがとうございました。 ・小刀を使ったクラフトは、なかなか体験できない活動で新鮮に感じました。また、子供たちの不器用さも分かりました。 ・担当所員の他に大学生ボランティアにも付いていただいたおかげで、丁寧な見守りができました。 ・食物アレルギーでは、一人一人の書類や保護者の手紙までご理解いただいていることが伝わりました。 ・雨のオリエンテーリング開催の判断について、相談に乗っていただきありがとうございました。 ・活動の説明をゆっくり丁寧に話していただき、生徒も理解して臨めました。 <p>・「野外学習アンケート」 ※カッコ内は「できた」「まあまあできた」の合計が全体に占める割合</p> ①回収枚数 951枚 ②各項目の達成度 <p>「ほほえみ」 (90.7%):できた64.3% まあまあ26.4% 普通7.9% あまり1.2% できない0.2%</p> <p>「なかま」 (90.3%):できた69.5% まあまあ20.8% 普通7.9% あまり1.4% できない0.4%</p> <p>「自然」 (91.4%):できた73.1% まあまあ18.3% 普通6.1% あまり1.5% できない1.0%</p> <p>○主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「参加者アンケート」 ※カッコ内は「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合 ■自然は友だちキャンプ 春遊び編 (対象:子ども 日程:1泊2日 5/1～2) ①回収枚数 44枚 ②事業の満足度・主な意見 <p>【初回参加】 28枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足78.6% 満足21.4% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>【複数回参加】 16枚</p> <p>「満足度」(100.0%) 大変満足68.8% 満足31.2% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の葉っぱを使って、Tシャツのペインティングが楽しくできました。 ・初めて会った仲間と共に、いろんな役割を果たせて良かったです。 ・ナイトハイクで、徳山の家が怖かったけど楽しかったです。

<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>■ 自然は友だちキャンプ 川下り編 (対象:子ども 日程:1泊2日 6/22~23)</p> <p>①回収枚数 48枚 ②事業の満足度・主な意見 【初回参加】 24枚 「満足度」(100.0%) 大変満足87.5% 満足12.5% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 【複数回参加】 24枚 「満足度」(100.0%) 大変満足83.3% 満足16.7% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて会った仲間と息を合わせて、川下りを頑張りました。 ・川下りで激流がいっぱいあって、楽しかったです。 ・はじめは緊張したけど、活動を通して仲良くなれて良かったです。 <p>■ ファミリーDAY 魚とり編 (対象:家族 日程:半日 9/8)</p> <p>①回収枚数 17枚 ②事業の満足度・主な意見 【初回参加】 12枚 「満足度」(100.0%) 大変満足 91.7% 満足8.3% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0% 【複数回参加】 5枚 「満足度」(100.0%) 大変満足100.0% 満足0.0% 普通0.0% 不満0.0% 大変不満0.0%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族で協力して、いろんな魚を捕まえることができました。 ・スタッフの方が丁寧にサポートしてくれて、有り難かったです。 ・子供たちも夢中になって、魚を捕まえることができました。 <p>○ 自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「参加者アンケート」 ※カッコ内は「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合 <p>■ イングリッシュ・キャンプ in GIFU (対象:子ども 日程:4泊5日 8/8~12)</p> <p>①回収枚数 157枚 ②事業の満足度・主な意見 【最終日アンケート】 157枚 「満足度」(97.5%) wonderful 82.2% nearly wonderful 15.3% nearly so-so 1.9% so-so 0.6%</p> <p>《主な意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・I don't like English but English camp is fun.
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>○ 受入事業</p> <p>意見等に対しては、担当職員が直接本人に回答している。また、宿直職員と団体指導者との打合せ会等で、施設としての考え方を説明している。 利用者全般に関わる内容については、ホームページを活用し、意見等に対する考えや対応について回答している。</p> <p>《主な意見と対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野外炊事場にハチがたくさんいたので駆除していただけると助かります。 ⇒すぐにハチの巣がないか所員が確認しましたが、今回は発見できませんでした。 このような情報をもとに、ハチに刺される被害が無いよう随時所員が巡回して確認をしています。 ・エアコンの温度が調節できず残念です。ただ、スタッフの方々はいつも気遣って暑くないかと聞いてくれています。 ⇒部屋ごとに温度調節できないのが現状です。事務室でこまめにオン・オフするしかありませんので、今後も受付や夜の打合せ時にその旨を伝え、その都度事務室へ連絡してもらうとともに、お客様に声掛けを行っていきます。 ・野外炊事で返却の際の点検がとても厳しく大変でした。 ⇒ススが落ちにくいお釜の取っ手の金具を全て外し、タワシで洗いやすいようにしました。 また事前打合せ会で、野外炊事の趣旨や活動時間を周知するとともに、子どもの実態や団体のねらいに応じて、皿やスプーンを持ち込み、食器の点検を省略することを提案します。 <p>○ 主催事業</p> <p>意見等に対しては、担当職員が直接本人に回答している。また、必要に応じて各事業の「終わりの会(全体会)」で、施設としての考え方を説明している。 事業全般に関わる内容については、係会、所内経営会議、所員会議を通して検討を重ね、次回事業のよりよい運営に生かしている。</p> <p>《主な意見と対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子が保護者にも分かるが良い。 ⇒自然の家ホームページやInstagram・FacebookなどのSNSで活動の様子が分かる写真を掲載し、できるだけリアルタイムな情報発信を行っていきます。 ・家族で川遊びができるような事業を企画して欲しい。 ⇒今年度より新規事業としてファミリーDAY魚とり編を企画し、上半期に実施しました。また次年度以降においても、参加者のニーズに応じて主催事業を計画していきます。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

【少年自然の家】

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
I 公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	(1)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	すべての利用者の平等利用を確保するため、きめ細やかなモニタリングを実施しているか。 モニタリングの結果を真摯に受け止め、常に市民の目線で、改善に向けた取組みを実施しているか。 「ユニバーサルサービスの推進」を重点目標とし、モニタリングに関する取組みの他にも、3つの取組みを着実に実施しているか。 ①類似施設への視察や類似施設で働く職員との意見交流を積極的に行い、先進的な取組みや見本となる取組みを取り入れる。 ②事業団の運営する施設が緊密に連携して、核施設の取組み状況をチェックし、改善の促進を図る。 ③人権啓発研修会、車いす体験研修会などの研修会に積極的に参加し、様々な人の視点で施設運営の見直し、改善を図る。 ソフト・ハード両面で、職員の専門性・ノウハウを生かし、ユニバーサルサービスの推進を図っているか。	A	A	A
		(2)情報提供、広報の方策	情報公開については、下記の基本的な考え方に基づいた対応を行っているか。 (1)関係法令の遵守 (2)公開請求について (3)情報公開体制の公表 (4)全職員への周知徹底 より多くの市民の皆さんに情報提供ができるよう、4つの方策に基づいて、広報活動の推進を図っているか。 (1)各種媒体の積極的な活用 (2)学校との協体制の構築 (3)ホームページの充実 (4)積極的な体験機会の提供	S	A	A
		(3)個人情報を保護するための方策	個人情報については、下記の基本的な考え方に基いて、適切な取扱いを行っているか。 (1)関係法令の順守 (2)個人情報の取扱いについて (3)個人情報保護体制の公表 (4)全職員への周知徹底	S	A	A
		(4)その他指定管理者の提案によるもの	利用団体の年間予約については、平日の学校利用の優先などに配慮し、調整を図っているか。 管理運営する他施設と十分連携し、当事業団全体で、人権に対する取組みを推進しているか。 反社会的勢力対策に万全を期すため、組織的な体制を整え、基本方針に基づいた対応の徹底を図っているか。	S	S	S
		区分評価				
II 効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(1)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	各事業の重点目標に基づいて、改善、工夫又は新規の取組みを積極的に行っているか。 <受入事業> (1)自然の家の3つの願いに基づく利用の推進 (2)専門職員による指導・支援体制の充実 (3)利用満足度の向上 <主催事業> (1)自然の家の3つの願いに基づく事業運営の推進 (2)新規活動プログラムの提供と充実した指導・支援 (3)家族間交流を図る活動プログラムの推進 (4)事業満足度の向上 <研修・啓発事業> (1)体験型研修会の充実 (2)積極的な自然体験活動の普及 (3)積極的な自然情報の発信 <研究・開発事業> (1)専門性の向上を図るための職員研修の充実 (2)新規活動プログラムの積極的な開発 (3)個人研究「自己課題」への取組みの推進 <自主事業> (1)「イングリッシュ・キャンプ in GIFU」の充実 (2)幼児対象事業及び出展事業の推進	S	A	A
		(2)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策	アンケート調査及び聞き取り調査を、事前・当日・事後を通して、段階的に実施しているか。 利用者ニーズ、苦情などに適切に対応するため、3つの方策に基づく取組みを着実に実行しているか。 (1)組織的な対応の徹底 (2)実務研修(OJT)の推進 (3)外部研修会への積極的な参加	A	A	A

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価			
				指定管理者	所管課	評価委員会	
Ⅱ 効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(3)利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	利用者のサービス向上を図るため、4つの方策に基づく取り組みを着実に実行しているか。 (1) 接遇方針の周知徹底 (2) 体験を通じたプロモーション活動の推進 (3) 各種媒体を活用したプロモーション活動の推進 (4) ニーズに対応した設備整備の推進	A	A	A	
		(4)利用促進、利用者増の方策	利用促進、利用者増を図るため、現状を踏まえた3つの方策に基づき、具体的な取り組みを実施しているか。 (1) 冬期に特化した活動プログラムの開発とプロモーション活動の推進 (2) 主催事業における“常に新しい活動プログラム”の提供 (3) 公園管理者や体育館との協力事業の推進	A	A	A	
		(5)サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	サービスの質を確保するための、4つの方策に基づく取り組みを着実に実行しているか。 (1) きめ細やかなモニタリングの実施 (2) 改善システムの適切な運用 (3) 体育館・公園管理者との協力体制の構築 (4) 類似施設との協力体制の構築	A	A	A	
		(6)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	高度な専門性とノウハウを備えた専門職員が、充実した指導・支援を行っているか。	S	S	S	
		(7)その他指定管理者の提案によるもの	市内学校の利用が円滑に行えるよう、必要に応じて、臨時開所をしているか。 活動プログラムを効果的に提供できるよう、専門性やノウハウを生かした教材づくりを行っているか。	A	A	A	
		区分評価					A
		区分評価					A
Ⅲ 効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	(1)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	過度な経費の削減により、サービスの低下を招かないよう、サービスとコストのバランスを十分に踏まえた施設運営を行っているか。 (1) 施設管理のための適正な予算措置 (2) 長期展望に立った施設運営による経費の削減とサービスの向上 (3) サービスの向上と安全の確保のための職員体制	A	A	A	
		(2)収支計画の妥当性	過去の実績をもとに、必要経費の見直しを図り、実情に即した収支計画を立案しているか。 (1) サービスとコストのバランスを考慮した収支計画の立案 (2) 重油価格などの物価変動の激しい経費の収支計画 (3) 適正な教材費の設定	A	A	A	
		(3)管理経費削減の具体的方策	“職員でやれることは職員で”をモットーに、自前での修繕・整備を推進し、大幅にコストを削減しているか。 消耗品や備品の一括購入により、経費を削減しているか。 電気使用量・料金の削減を図るため、下記の取り組みを行っているか。 ① 岐阜市との協議の上、照明のLED化を推進 ② デマンド監視システムによる電力の効率的な使用 ③ 最適な電力供給会社の選定 ④ 消灯チェックなどを行う館内点検の強化 ⑤ 全職員で毎月の電気使用量・料金チェック 重油の単価契約を事業団独自で行い、燃料費の削減を行っているか。 電子媒体の活用により、切手代などの郵送料を削減しているか。 各種冊子の印刷製本を自前で行い、印刷製本費の削減を行っているか。	A	A	A	
		(4)その他指定管理者の提案によるもの	教材を安価に仕入れ、利用者に低価格で提供することで、サービスの向上(実費負担の軽減)に努めているか。 “手づくりのぬくもり”を大切にしながら、サービスの向上に努めているか。 低炭素社会を創出するため、「岐阜市環境基本計画」等に則り、環境に配慮した事業運営を行っているか。	A	A	A	
		区分評価					A
Ⅳ 安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(1)経営基盤の安定性	経営理念「わたしたちは、教育・文化活動を通じて、市民の健康な心と体づくりを応援し笑顔と生きがいのあふれる豊かな生活づくりに貢献していきます」を2つの点から実現しようと努力しているか。 (1) 公益法人としての高い信頼性 (2) 安定した財務内容	A	A	A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
IV 安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(2)スタッフ配置の妥当性	充実した指導・支援体制と無理のない勤務の両立を図っているか。	A	A	A
		(3)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	高度な専門性とノウハウを備えた専門職員が施設運営を行っているか。 (1)職員の高度な専門性とノウハウの活用 (2)自然の家の運営に適した資格の保有	A	A	A
		(4)スタッフの管理、監督体制	8つの項目に重点を置き、管理、監督体制の徹底を図っているか。 (1)目標の共有と達成に向けたチームワークづくり (2)施設長会議・所内経営会議・職員会議による周知・徹底 (3)法令の遵守 (4)女性が働きやすい環境の整備 (5)ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境づくり (6)セクシャルハラスメント・パワーハラスメント対策 (7)メンタルヘルス対策 (8)報告・連絡・相談の徹底	A	A	A
		(5)スタッフの人材育成の方策	4つの方策に基づく取組みを通して、自然の家の運営に適した人材の育成を図っているか。 (1)当事業団全体の研修会の実施 (2)自然の家独自の研修会の実施 (3)実務研修(OJT)の実施 (4)個人研究「自己課題」への取組みの推進	A	A	A
		(6)リスクへの対応方策、利用者への安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	リスクへの対応に万全を期し、安全・安心な施設運営を行っているか。 (1)事故防止対策 (2)防犯対策 (3)「表示マーク(銀)」の交付 (4)「応急手当協力事業所」の登録 (5)環境衛生対策 (6)緊急時の対応	C	D	D
		(7)リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	下記のように、リスクへの対応能力を備えているか。 (1)全国市長会市民総合賠償補償保険での対応 (2)施設管理に関する賠償責任保険への加入 (3)主権事業等における保険への加入 (4)当事業団の資金力について	S	S	S
		(8)その他指定管理者の提案によるもの	学校及び教育委員会、市内公共施設と十分に連携して施設運営を行っているか。	A	A	A
		区分評価				
V 貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(「地元」)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1)地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	岐阜市が標榜する「5年先行く教育」の実現のため、英語教育、理数科教育に寄与する事業の充実を図っているか。 (1)「イングリッシュ・キャンプ in GIFU」の運営 (2)「ぎふサイエンス・キャンプ」の受け入れ (3)「ぎふサイエンスフェスティバル」への出展 市内の児童生徒に効果的に「アクティブ・ラーニング」の場を提供できるよう、市内学校を優先して利用調整を図っているか。 三輪地域の振興、活性化に貢献できるよう、協力事業、出展事業を推進しているか。 (1)三輪地域の環境を生かした協力事業の推進 (2)地元イベントでの出展事業の推進 三輪地域の自然情報を積極的に発信しているか。 (1)「季節の散策マップ」の配布 (2)ホームページ等による紹介 「子どもが夢を！ 青少年が志を！ 市民みんなが生きる喜びを！」の具現に向けて、市内各種団体の健全な育成に寄与できるよう努めているか。 (1)出前講座や事業協力の推進 (2)遠足や社会見学などでの活動プログラムの提供と指導・支援 (3)大学ボランティアスタッフの育成 再委託業務の指名については、地元業者を考慮しているか。	A	A	A
		(2)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	地元の住民、高齢者、障がい者を積極的に雇用しているか。	A	A	A
		(3)地元での資材等の調達	備品、資材等を調達する際は、原則、市内の業者に発注しているか。	A	A	A

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
V 貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(「地元」)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(4)地元での社会活動等への参加	「安全・安心のまち 三輪」を推進する施設としての役割を果たしているか。 (1)「子どもスマイルステーション」 (2)応急手当協力事業所行事などを通して、幅広く地元での活動に参加しているか。	A	A	A
		(5)その他指定管理者の提案によるもの	「MAGロード(東海環状自動車道)岐阜三輪スマートIC(仮称)の設置にともなう地元の活性化に寄与しているか。 (1)市外・県外の団体の受け入れ体制の整備 (2)市外・県外への広報活動の充実 「岐阜ファミリーパーク再整備計画」の進捗状況に即した事業を推進し、公園や地元の活性化に寄与しているか。	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

(I-(2))

- ・主催事業、自主事業における各事業の募集をはじめ、施設案内、活動プログラム、自然情報等、自然の家の様々な情報をより多くの市民の皆さんに提供するため、「広報ぎふ」や地域情報誌、ちらし配布やホームページ等各種媒体を積極的に活用した広報活動の推進を図った。
- ・今期から、主催事業案内や活動の様子、季節の自然の紹介など、「インスタグラム」や「フェイスブック」を有効に活用した広報を開始し、SNS世代の若い年齢層への情報発信を積極的に行った。

上半期SNS投稿回数：各38回投稿

- ・4月19日に事業団ホームページ上にSNS開設のお知らせを公開。同時に、「岐阜市教育文化振興事業団SNS運用方針」も公表し、SNSの情報発信にあたり利用者の誤解や混乱を生じないように努めた。
- ・CCNテレビに取材を依頼し、自然は友だちキャンプ「春遊び編」と「川下り編」、ファミリーDAY「魚とり編」の3事業において、活動の様子をそれぞれ9回計27回(再放送含む)に亘って放映していただくことができた。

(I-(3))

- ・4月19日に、個人情報保護担当者に対し「個人情報保護研修会」を行った他、6月27日には、施設長に対し「個人情報保護研修会」を実施。研修会を2回実施することで、個人情報保護に対する重要性の認識と個人情報の取扱いについての徹底を図った。6月27日の研修会では、電子メールの取扱いに関する研修も行い、個人情報の誤送信による流出防止を徹底。情報の管理に対する意識の向上を図った。それらの研修の内容については、職員全員に伝達・周知した。
- ・SNSを活用した広報活動や情報発信に積極的に取り組むにあたり情報セキュリティ事故に対する予防策を講じるために策定した、「公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団情報セキュリティポリシー」・「SNS等運用方針」・「SNS等運用指針」に基づき、4月からSNSの安全な運用を開始した。また、SNSによる情報発信の際には「SNS等利用チェックシート」を活用し、万全な対策を講じている。
- ・4月19日に事業団ホームページ上にSNS開設のお知らせを公開。同時に、「岐阜市教育文化振興事業団SNS運用方針」も公表し、SNSの情報発信にあたり利用者の誤解や混乱を生じないように努めた。

(I-(4))

- ・年間利用調整について
利用団体の年間利用調整(年間予約)は、各団体から利用希望時期を記入した利用希望調査書を提出していただいたうえで、利用調整原則に則り調整を図った。
また、その結果は小中学校や子ども会、ボーイスカウト等の代表者で構成されている利用調整委員会で審議され承認を得ることができた。
- ・利用希望時期は、1ヶ月を上旬・中旬・下旬に分け第3希望まで記入していただいているが、できる限り第1・第2希望で調整できるよう休所日を臨時開所し対応した。
- ・小中学校の利用では、学校行事(修学旅行・運動会等)と重ならないよう配慮することや、特別支援学校においては、子どもの体調管理を考慮し、原則、利用日の次の日が学校休業日となる木金の利用とした。
また、公平・公正な年間利用調整となるよう、下記の事項が続かないよう配慮した。
・第3希望での調整
・小中学校の利用では、振替が必要となる金土利用
・学校休業日明けで、子どもの健康状態が把握しづらい月火の利用
- ・令和元年度上半期の年間利用調整結果
<岐阜市立小中学校及び特別支援学校>
第1希望67校(93.1%) 第2希望 5校(6.9%) 第3希望 0校(0%)
※特別支援学校利用日 全て木金で調整

<岐阜市立小中学校及び特別支援学校以外の学校>
第1希望32校(69.6%) 第2希望10校(21.7%) 第3希望 3校(6.5%) 希望外 1校(2.2%)

<青少年団体>
第1希望106団体(86.2%) 第2希望13団体(10.6%) 第3希望 1団体(0.8%) 希望外 3団体(2.4%)
- ・臨時開所による対応
小中学校は利用希望が5月・6月、青少年団体は夏休みに集中しているため、できる限り希望に添えるよう休所日を臨時開所し対応した。その結果、概ね第1・第2希望で調整することができた。
臨時開所日数：(上半期)14日
【利用時期についてのアンケート結果】
大変満足 18校(34.6%) 満足 23校(44.2%) 普通 8校(15.4%) 不満 3校(5.8%) 大変不満 0校(0%)

全て希望の時期(曜日も含めて)に利用していただくことは不可能である。しかし、様々な配慮により、概ね満足していただくことができた。
また、不満と回答した学校については、その理由を分析するとともに令和2年度の利用調整に生かした。

- 令和2年度上半期の年間利用調整
 <岐阜市立小中学校及び特別支援学校>
第1希望63校(90.0%) 第2希望 6校(8.6%) 第3希望 1校(1.4%)
※特別支援学校利用日 全て木金で調整
 <岐阜市立小中学校及び特別支援学校以外の学校> <青少年団体>
 下半期に実施

上記により利用調整委員から、きめ細やかな利用調整に対し称賛していただくことができた。

(II-(1))

- 自然の家の設置目的を常に意識した指導・支援を行った。特に、自然の家の3つの願い「ほほえみ」「なかま」「自然」の達成度(5段階評価の内、「できた」「まあまあできた」の占める割合)を高める為、それぞれの願いに応じたプログラムの提供や、指導・支援を行うことで、下記の達成度を得ることができた。

《アンケート結果》

受入事業:「ほほえみ」90.7% 「なかま」90.3% 「自然」91.4%
主催事業:「ほほえみ」95.4% 「なかま」95.4% 「自然」94.5%

《参考》

- 「ほほえみ」(達成感・自己発見等)
 自ら考え、工夫して活動をやりきることで、成就感や達成感を味わわせ、自主的・創造的な態度を養う。
- 「なかま」(協調性・社会性・自立性等)
 一人ひとりが役割を果たすとともに、規律を守り、互いに協力して活動することで、仲間を思いやる態度を養う。
- 「自然」(感性・感動・畏敬等)
 五感を働かせて自然体験活動に取り組むことで、自然に対する興味・関心を高め、自然に親しむ態度を養う。

- 受入事業での利用満足度
「利用全般」 (97.1%):大変満足70.1% 満足27.0% 普通 2.9% 不満0.0% 大変不満0.0%
「施設・設備」 (96.0%):大変満足58.6% 満足37.4% 普通 3.4% 不満0.6% 大変不満0.0%
「職員の対応」 (97.7%):大変満足81.6% 満足16.1% 普通 2.3% 不満0.0% 大変不満0.0%
「食堂の食事」 (91.3%):大変満足51.9% 満足39.4% 普通 8.1% 不満0.6% 大変不満0.0%
 各項目で非常に高い評価を受けている。特に食堂の食事においては、メニューの改善や、きめ細やかな食物アレルギー対応等が評価され、昨年度の満足度87.7%から91.3%となった。

- 主催事業事業満足度**
 平成30年度上半期主催事業における事業満足度(全事業の平均)は、98.0%と非常に高かったが、今年度上半期の**事業満足度は、100.0%とさらに高い評価を受けることができた。**

- 熱中症対策**
 今年度より暑さ指数計を購入し、その都度暑さ指数を利用者に伝え熱中症予防を促した。また、暑さによる活動の変更にも柔軟に対応した。
 さらに、ミスト扇風機を2台購入し、猛暑時のオリエンテーリングやウォークラリー、野外炊事の休憩地点に設置し、熱中症予防に努めた。

- SNSを活用した情報発信**
 今年度より新たにSNS(Instagram・Facebook)を活用し周辺の自然情報や主催事業の様子等多くの情報発信に努めた。
SNS投稿回数:(上半期)各38回投稿

- 地域の特色を生かしたオリエンテーリングコースの開発**
 豚コレラ対策に関わって、急遽、既存のオリエンテーリングが実施できない状況となり、代替えのコース(山に入らずに、適度な負荷のかかるコース)を早急に開発することが必要となった。舗装された道路であっても魅力的なコースにする為、**三輪地域の文化を紹介する内容とし、職員が実際に歩いたり、関係する神社やお寺、地元の小学校などに協力を仰いだりして、「ミワクルコース」を作成することができた。**
 その結果、既存のコースで計画していた団体に代替え案の一つとしてミワクルコースを提示することができ、**ミワクルコースに変更した団体からは、好評を得ることができた。**

(II-(6))

- 事業計画書28ページに記載している職員配置の原則に則り、すべての団体のすべての活動に職員を配置し、適切に指導・支援を行った。特に野外炊事や川での活動には、より安全性を高めるため、複数の職員を配置した。
- 天候の急変、サル・イノシシ・クマの出没情報等に迅速に対応するため、ウォークラリー、オリエンテーリングを実施する際は、コースを巡回する職員を配置した。
- 急な活動計画の変更があった場合も、「朝の打合せ会」等で、指導・支援体制の調整を図り、適切に職員を配置した。
- 準備段階である「事前打合せ会」や下見等においても、すべての団体に職員を配置し、指導者への適切な指導・支援に努めた。

今期の取組み
 に対する評価

・川下りにおいては、当日の水量や天候、過去のデータや経験等を基に危険箇所を判断し、危険箇所でもコース取りの指示を的確に行うとともに、ボートが岩に乗り上げたり転覆したりすることも想定し、救助できる体制を敷いた。また、団体の希望により先頭艇に職員が乗船し、ボートの上から指示を行った。川下りのノウハウを備えた職員が、指導・支援を行うことで、危険を伴う川下り活動を安全に行うことができた。

・主催事業、自然は友だちキャンプ「春遊び編」「川下り編」やファミリーDAY「魚とり編」では、自然の家周辺の自然環境を熟知した職員がその環境を生かしたプログラムを企画・実施することで**事業満足度は100%**となった。

上記の取組みの結果、「利用者アンケート」の記載には、「指導・支援体制が充実している」、「指導・支援の在り方が適切である」といった内容が大変多く見られた。「職員の対応」の満足度は**97.7%**(大変満足**81.6%** 満足**16.1%**)となり、**成果・効果は顕著**と言える。

・学校指導者研修会や青少年団体指導者研修会では、自然の家での活動プログラムを熟知した職員がきめ細やかな説明を行うことで、集団宿泊体験の意義や、計画の立て方や指導方法、安全面での留意点などの理解を図った。

研修事業アンケートの結果

第一回学校指導者研修会

講義について	満足度: 98.6%
実習 I 「活動計画の立案」について	満足度: 100.0%
実習 II 「野外炊事」について	満足度: 100.0%

第二回学校指導者研修会

講義について	満足度: 100.0%
実習 I 「活動計画の立案」について	満足度: 100.0%
実習 II 「野外炊事」について	満足度: 100.0%

青少年団体指導者研修会(第1回・第2回)

講義について	満足度: 100.0%
実習 I 「活動計画の立案」について	満足度: 98.7%
実習 II 「野外炊事」について	満足度: 98.7%

(IV-(6))

・異物混入について

8月21日(水)、食堂において昼食で提供した中華飯に、紙片(縦90mm×横85mm)を混入させてしまった。

調理補助者が指示書(紙)に従って下ごしらえを行っていたが、その指示書を具材(白菜)の上に置いたことと、調理師がその指示書を見落とし、取り除くことなく具材と一緒に調理してしまったことが原因である。幸い喫食者が紙片を口にする前に発見したため、健康被害はなかったものの、再発防止に向け下記の取組みを行った。

<再発防止策>

岐阜市少年自然の家所員は、公共の教育施設における給食業務であることを全員が十分理解し、誠実かつ責任をもって業務に取り組み、給食業務委託事業者である岐阜給食センターとともに安全な食材を提供する。

- ①再発防止策の確実な履行の確認と指導
- ②食品庫、厨房の衛生状況の定期的な確認と指導
- ③混入の可能性のある異物の排除
- ④管理栄養士の派遣による作業手順の確認と衛生管理の徹底
- ⑤食堂給食業務の負担軽減策の実施
- ⑥給食業務従事者の安全意識の向上

・熱中症対策

今年度、**暑さ指数計**を購入し、その都度暑さ指数を利用者に伝え熱中症予防を促した。また、暑さによる活動の変更にも柔軟に対応した。

さらに、**ミスト扇風機を2台購入し、猛暑時のオリエンテーリングやウォークラリー、野外炊事の休憩地点に設置し、熱中症予防に努めた。**

イングリッシュキャンプinGIFUにおいては、酷暑にもかかわらず、上記の対応の他、こまめな水分補給や塩タブレットによる塩分補給を行うことで、参加者・ALT・学生ボランティアを含め219名全員が4泊5日のキャンプを無事に乗り切ることができた。

利用団体についても、**熱中症で救急搬送されるような事態がなく、野外活動を行う自然の家として、熱中症対策を十分に行うことができた。**

・豚コレラ対策

豚コレラウィルスの拡散防止に向けて、公園管理者と協力し遊歩道出入りに消石灰を散布することとした。自然の家の管理区分ではないが、散布する9カ所のうち2カ所を自然の家が散布することとし、**週2回程度及び雨天後に消石灰を散布することで、豚コレラウィルス拡散のリスク減少に努めた。**

・スズメバチの駆除

毎年、スズメバチの巣の調査や駆除を行っているが、**遊歩道の脇にオオスズメバチの巣を所員が発見し、すぐに通行止めを施し、駆除(業者発注)したことで、大きな事故を防ぐことができた。**

・クマ出没情報に伴う対策

9月4日(水)自然の家の西方800m地点で、クマらしき動物が出没したとの情報を得て、活動エリア外ではあるものの、9月利用団体にその情報を伝えるとともに、万が一クマと遭遇しないよう、**活動中の所員巡回を強化し利用者の安全を図った。**

今期の取組み
に対する評価

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>(IV-(7))</p> <ul style="list-style-type: none"> 主催事業や自主事業の参加者の怪我や事故に対応するため、全国市長会市民総合賠償保険以外に、事業団独自で傷害保険に加入し、万が一に備えている。 今年度からは、日帰りの事業について他施設の事業もまとめて年間包括契約を締結し、事業団全体で保険内容の見直し・充実を図った。 【自然の家での対象事業】 指定事業: 家族の集い ファミリーDAY (3講座 4回) 市民のつどい ファミリーフェア 自主事業: 自然体験活動実技研修会 (9月・11月・2月) ・熱中症危険補償特約の付加 近年増加傾向にある熱中症に対応するため、普通傷害保険の補償内容に新たに「熱中症危険補償特約」を付加。事業参加者の万が一に備えるとともに、事業団に係るリスクへの対応を強化した。 ・給付保険金額の充実 熱中症対策の強化を図るとともに、死亡・後遺障害に対する補償額の引き上げも行い、事業を実施する上での安心・安全面の向上を図ることができた。 <table border="0"> <tr> <td>【新契約】</td> <td></td> <td>【旧契約】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給付内容</td> <td>1人あたりの保険金額</td> <td>給付内容</td> <td>1人あたりの保険金額</td> </tr> <tr> <td>死亡・後遺障害保険金額</td> <td>10,000,000円</td> <td>死亡・後遺障害保険金</td> <td>9,000,000円</td> </tr> <tr> <td>入院保険金(日額)</td> <td>5,000円</td> <td>入院保険金(日額)</td> <td>5,000円</td> </tr> <tr> <td>手術保険金(入院時)</td> <td>50,000円</td> <td>入院保険金(日額)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手術保険金(外来時)</td> <td>25,000円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>通院保険金(日額)</td> <td>3,000円</td> <td>通院保険金(日額)</td> <td>3,000円</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・上記保険内容の充実は、複数の事業をまとめた包括契約の入札を実施することで、これまでの保険料金を変更することなく実施できている。 ・その他の評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。 	【新契約】		【旧契約】		給付内容	1人あたりの保険金額	給付内容	1人あたりの保険金額	死亡・後遺障害保険金額	10,000,000円	死亡・後遺障害保険金	9,000,000円	入院保険金(日額)	5,000円	入院保険金(日額)	5,000円	手術保険金(入院時)	50,000円	入院保険金(日額)		手術保険金(外来時)	25,000円			通院保険金(日額)	3,000円	通院保険金(日額)	3,000円
【新契約】		【旧契約】																											
給付内容	1人あたりの保険金額	給付内容	1人あたりの保険金額																										
死亡・後遺障害保険金額	10,000,000円	死亡・後遺障害保険金	9,000,000円																										
入院保険金(日額)	5,000円	入院保険金(日額)	5,000円																										
手術保険金(入院時)	50,000円	入院保険金(日額)																											
手術保険金(外来時)	25,000円																												
通院保険金(日額)	3,000円	通院保険金(日額)	3,000円																										
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>【所管課の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特記事項なし <p>【指定管理者評価委員会の意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 雨が降った時にきめ細やかな対応などが評価できる。 ⇒自然の家の活動は自然が相手となります。雨天時に限らず様々な状況に応じ臨機応変に対応しています。また、猛暑の対応として暑さ指数計とミスト扇風機を購入し、熱中症対策を講じました。 2 異物混入に対する防止策が実施された点が評価できる。 ⇒新たに異物混入事故を起こしてしまったことを深くお詫びいたします。安全対策をゼロから見直し、再発防止策の徹底を図っていきます。 3 冬場の利用に課題 ⇒下半期において、自然の家の浴場を無料開放する日を設けることで、稼働率の向上を図りたいと考えています。 4 大口の顧客に左右されてしまう場面もある。 ⇒利用人数は、大口の顧客に左右されてしまうこともありますが、自然の家の設置目的に沿った受入れを大口小口に捉われず行っていくことが使命と考え実施しています。 																												
<p>今後の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書に記載した内容の着実な履行 ・専門性の追求と魅力あるプログラム開発 ・市の施策に応じた事業の展開 「コンパスキューブ」の考え方に基づいた「アクティブ・ラーニング」の充実 ・自然の家を取り巻く環境の変化に応じた取組み 東海環状自動車道スマートインターチェンジ開通イベントへの協力 岐阜ファミリーパーク再整備に向けた提案 ・経費の縮減とサービスの向上の実現 既存業務の見直し、事務の簡素化・効率化の意識向上 ・給食業務を含めた安全対策の強化と着実な実施 																												

●所管課の意見

I (2)…利用者への情報提供の方法について新たなSNSの取り組みを始めた点が良い。SNSによる情報提供の成果が明確になることを今後の課題とし、A評価とした。

I (3)…個人情報流失防止の研修の回数を増やす取り組みができた。所員全体に浸透する研修の充実や、物理的な個人情報保護の方法について、今後の検討課題とし、A評価とした。

I (4)…本年度より利用団体アンケートに新たな項目として、団体の年間予約に関する日程の満足度の項目を設け、利用団体から高い評価を得たため、S評価とした。

II (1)…業務改善、工夫等については、各事業への取り組みは良好であるが、危機管理面の事案があったため総合的に、A評価とした。

II (6)…専門的な内容について、利用者に応じた指導・支援を行っている。利用者アンケートで、今期も高い満足度を得ており、満足度の高い水準を維持していることをふまえて、S評価とした。

IV (6)…給食について異物混入の事案が2年連続して発生しており、緊急時の連絡体制や、危機管理体制に改善を要するため、D評価とした。

IV (7)…熱中症危機補償特約をつけることや、死亡・後遺障害及び入院保障の補償額を上げる工夫を、利用者の負担額を増やすことなく実施した成果より、S評価とした。

●指定管理者評価委員会の意見

・SNS広報による効果の指標である「いいね」についてはまだ数が多くないと考えられるため、今後期待したい。

・給食の管理の問題について、評価基準を鑑みると、危機管理上、指導が必要だと判断する。